

子供の頃の夢

ソコロウ エフゲニー

だれにでも夢があります。みんな子供の頃はいろいろなことに胸をおどらせますが、どうやって実現するかはあまり考えません。私は子供の頃、アニメや漫画がとても好きだったので、漫画家になって自分のものがたりを作りたかったのです。

小さな国で育ったので、他の文化にきょうみがありました。ある日テレビで日本のアニメを見たのです。その絵柄にとってもひかれたのです。それから同じようなものをさがしました。本当におもしろくて、感動して、えいきょうを与えられました。地元のテレビ局がアニメの母国語へのほんやくを止めたあとでも、他のアニメが見られる方法をいっしょにけんめいさがしました。もっとおもしろいアニメを見たいと思って、いろいろよくしらべました。多くのアニメは漫画をもとに作られたので、原作は漫画だということがわかりま

した。私は漫画も好きになりました。絵を描くのが好きなので、同じようなものを作ってみたかったです。絵を描くだけでなく、ストーリーもしっかり作られている作家さんはすごいなと思いました。そして本当に日本に行きたいと思うようになりしました。結局、漫画が書けるようになるために、そのスタイルが生まれた国でその言葉を理解する必要がありますのである。

国で美術学校を卒業しました。でも自分がやりたいこととはちょっと違いました。ラトビアは美術に対する考え方が違います。日本と同じようなことを学ぶのは不可能だったのです。

そして5年後、ようやく日本にたどり着きました。夢が実現できます。日本語を勉強したり、美術やデザインについてもっと学んだりと、自分が作った漫画で人々にあきらめない気持ちを与えたい！そうしてついに子供の頃の夢は日本にたどり着いたのである。